

# 自己評価シート（令和6年度）

さくら幼稚園

## 1. 園の教育目標

学校教育法に基づいて幼児を教育し、最良の環境を整えてその心身の発達の助長に務め、ことに宗教的情操を培い、建学の精神である「明るく清い心と行いの芽ばえを育成する」ことを教育目標とする。

## 2. 重点的に取り組む目標

新教育要領に挙げられた「10の姿」と資質・能力をもつ3つの柱（幼から小への接続）の中で「学びに向かう力・人間性等」に重点を置き育成することを目標とする。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育の振り返りと指導計画 日案・週案・月案などの短期指導計画と期別・年間指導計画などの長期指導計画の記録を振り返る。  教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"><li>「日々の保育の振り返り」が「週の保育の振り返り」につながり「月（期・年）の振り返り」につながっていくという意識を持ちながら指導計画を作成している。</li><li>園長はじめ全教職員が教育要領の精神を踏まえ、保育実践を通じた振り返りや記録により教育課程を作成する。</li></ul>
安全管理  防犯体制  ※子どもの置き去り防止装置を設置  防災体制	<ul style="list-style-type: none"><li>防犯の点検を常に行っている。（正門の電気錠等）</li><li>スクールバス通園・徒歩通園の入口を区別している。</li><li>保護者は必ず指定のネームプレートをつけて園内に入る。</li><li>バス送迎時の置き去り事故を防ぐため、職員室とスクールバスに置き去り防止装置を設置し、対処している</li><li>自然災害（地震・火災・津波）に対する防災のための避難訓練を随時行っている。</li><li>保護者との連携がスムーズに進むよう「園児引き渡しカード」を整備している。</li><li>園児個人用の非常食及び水を備蓄している。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災備品の準備と点検を随時行っている。</li> </ul>
<p>衛生管理(保健管理)</p> <p>健康診断の実施 園児及び教職員の健康診断 感染症に対する保護者との連携・ 連絡の対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園医による健診（内科・眼科・歯科）を行っている</li> <li>・ 各保育室・スクールバス・玄関入口にアルコール液（消毒用）の備え付けをしている。</li> <li>・ 「保健だより」による家庭との連絡を常にとりながら、感染症発生時には直ちに県や保健所と連携をとっている。</li> </ul>
<p>研修（研修・研究の体制）</p> <p>園内研修 保育実践者と研究者の連携</p> <p>「幼児の本質的な育ちを支える保育者のあり方」というテーマを持ち、「エピソード記録」の作成日々の保育が幼児の育ちを支えているか保育者の自己点検・評価をする</p> <p>公的機関が開催している研修会への参加</p> <p>心の教育（生きる力）への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講師を招いて園内研修を行っている</li> <li>・ 保育者と研究者が協力して研修を進めている。</li> <li>・ 本テーマは継続研究である。近年、社会の変化が加速度を増し、人工知能A Iの時代に向かう急激な変化の中で、すべての事象を自分事として捉え周りの人と協働しながら共存していく力が求められている。そこで、子ども一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、違う価値が交わって共に新たな価値を創っていく“共創”する力を得ることが課題となる。子どもたちが思いがけない事態に直面したと思われる場面、子どもの行為の解りにくい場面を、各保育者が「エピソード記録」にまとめた。幼児にとってどのような育ちを得るのか。その時の保育者の関わり、共に育つことを考察し、第三者評価を得た。</li> <li>・ 積極的に研修会に参加し、研修成果を保育に生かす。</li> <li>・ 日々の生活や遊びの中で心の教育（生きる力）が育まれる保育を積み重ねていく。</li> </ul>
預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育終了後、専任教員により縦割り保育を行っている。</li> <li>・ 心身の負担を考慮しながら教育課程に基づく保育を行っている。</li> </ul>
未就園児保育（2才児保育）	子育て支援の一環として教育的保育活動を行っている。
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公認会計士による監査の結果、財務は適正に行っている。</li> </ul>

財務運営の状況	止に行われているという報告を待っている。
---------	----------------------

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校評価の趣旨を全教職員が共通理解し、それぞれが自己評価し、取り組み状況を見直すことによって園としての方針を明確にすることができ、同時にそれを実践する礎とすることもできた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
情報公開の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>園だより・参観・ホームページの活用を通して保護者への周知徹底に取り組んでいるが、更に進んだ情報公開を検討している。</li> </ul>
安全管理 外部侵入者・来訪者等に関する安全対策  危機管理 防犯体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>不審者情報が県・市及び警察から随時提供されるようになっていたため、それに対応するかたちで各家庭に情報を伝達していく。</li> <li>教員の意識づけ並びに地域との防犯体制の確立、警察通報の在り方の体制づくりを徹底していく。</li> </ul>
自己点検・自己評価 研修体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員共通の基本項目を点検課題として挙げ、そこに各々の教職員が自らの課題を加えながら自己研鑽に取り組むようにしている。</li> </ul>
園内環境の再構築	園の施設・設備・遊具等の安全点検を常に確認し改善していく。  専門業者による受水槽・高架水槽の定期点検及び清掃を行う。